

磐梯山&鵜の岬山行報告



【山行日】2018年 6月 16日(土)~17日(日)

【集 合】岩舟支所P AM 8:00

【費 用】マイカー1台 : 17,700円

【メンバー】CL:鈴木、岩淵、大西、島田、関、津佐、藤原、渡辺

6月16日(土) 曇り 会津観光し『田季野』で昼食を食べ、五浦海岸を観光後鵜の岬へ

栃木市運動公園 P8:00=さざえ堂 10:20/11:15=

「田季野」11:30/12:20=五浦六角堂 14:20/15:00

=国民宿舎「鵜の岬」15:40

国民宿舎人気 NO.1の『鵜の岬』に宿泊したいとのリクエストがあり、磐梯山登山と併せて計画した。鵜の岬は3ヶ月前の1日に予約を受付するため、4月1日の朝から電話を掛けるが中々繋がらない。11時過ぎにようやく繋がり、土曜日の6月16日を8名で予約をゲットすることが出来た。

ところが、前日の天気予報で雨の予報に変わり、急遽磐梯山登山を中止にして会津観光に変更した。

出発時間を8時に変更し、栃木市運動公園 P を出発する。飯盛山入口にある市営観光駐車場に車を止め、トイレを済ませ飯盛山へ向かって歩いて行く。道路を渡り、土産店が並ぶ道を登ると石段になる。石段の右側にスローコンベアがあり、250円で楽して登れるが山岳会のプライドが許さない。石段を登り、上り切った所が白虎隊霊場で、ここには白虎隊十九士の墓や白虎隊碑等が置かれている。



さらに右の階段を下った所に白虎隊自刃の地があり、ここから鶴ヶ城を見ながら自刃したそうである。来た道を戻り石段を少し下って、土産店の前を通り「さざえ堂」へ向かう。「さざえ堂」は1796年



に飯盛一族の正宗寺の郁堂和尚によって建立され、西国三十三観音菩薩を安置した六角三層の観音堂である。その形がさざえの殻に似ていることからさざえ堂と呼ばれ、階段の無い螺旋通路で上り下り出来、上りの人と下りの人がすれ違うことなく一方通行で巡れる世界にも例が無い建築で、国の重要文化財に指定されている。さざえ堂を巡ったら前の石段を下りて、巖島神社に向かう。

巖島神社の前に用水路があり水が凄まじい勢いで流れており、これが「戸の口堰洞穴」で飯盛山の下をトンネルで通した用水路である。天保年間に会津平野の灌漑用水として、猪苗代湖より通水した洞穴で現在も農業や工業用水として使われているようだ。

ここから旧参道を下って行き、滝沢本陣を見てから駐車場に戻り「田季野」へ向かう。



昼食を「田季野」に予約しており、時間通りに「田季野」に着き各自好きなものをオーダーする。「田季野」は輪箱めしが有名で、色々な種類の輪箱めしがありお蕎麦や天ぷら、会津の郷土料理が食べられる。昼食が済んだら今宵の宿「鵜の岬」に向かうが、途中、五浦海岸に寄り、岡倉天心ゆかりの六角堂を見学することにした。新天地を求めた天心が、明治三十八年に自らの設計により邸宅と六角堂を建築し、

終生この地を拠点とした場所である。300円の入場券を購入し、長屋門脇の出入り口から入り順路に従って見学する。まずは天心記念館に入り、ビデオで岡倉天心や六角堂についてレクチャーを受けてから見学する。園内は良く整備されており、2011年の東日本大震災で倒壊した六角堂が見事に復元されていたが、真新しい朱塗りの六角堂は周りの風景に馴染んでいない気がした。

天心邸も津波で冠水したが、倒壊は免れ昔のままの面影を残していた。

天心遺跡をあとにし、今回お目当ての「鵜の岬」に向かった。海岸沿いの道を通り、国道6号線を南下し十王町の信号を左折すると「鵜の岬」に着く。男女別に部屋に案内され、落ち着いたら温泉に入る。8階の展望風呂は広くて見晴らしが良く、少しぬるめのお湯でのんびり浸かることが出来た。温泉でサッパリしたら部屋で反省会が始まり、ビールやワインをいただきながら談笑する。6時から夕食の時間になり、レストランに向かう。刺身五点盛や銀カレイの煮つけと野菜炊き合わせ、ローズポークのシャブシャブなどが並び美味しくいただいた。しらすと山菜の釜めしが美味しく、お酒を飲んだ後はご飯を食べない我輩が釜めしを完食し、皆さんの残ったおこげも全部いただいた。お腹いっぱいになり、部屋に戻るとすぐに就寝した。



6月17日(日) 晴れ 日立海浜公園を散策し、那珂湊おさかなセンターで昼食と買い物し、大洗めんたいパークに寄って栃木市運動公園Pへ帰着



鵜の岬 8:30=野菜直売センター-8:35/8:50=

日立海浜公園 9:45/11:40=那珂湊おさかなセンター

12:05/12:55=大洗めんたいパーク 13:10/13:35=

栃木市運動公園 P15:45

シルバー隊は朝の目覚めが早く、5時前に起きて温泉に浸かり6時から朝の散歩に出かける。

「鵜の岬」は東京ドーム4個分の広大な敷地に建ち、敷地内にいくつもの遊歩道が整備されている。

本館から出て南の海岸に向かい、海岸から海の

遊歩道を通って碁石ヶ浦に出る。ここは小さな湾になっており、砂浜に降りることが出来る。林の中のアップダウンの道は結構きつく、森の遊歩道は登りが辛かった。海岸沿いに歩いて行き



「潮騒の岡」から湿生植物園に下り、谷の遊歩道を登って芝生広場に出る。ここから谷の遊歩道を下って「鶉のパラダイス」に寄り本館に戻った。丁度朝食の時間でそのままレストランに向かい朝食をいただく。朝食はバイキングで、自分が好きなものを好きなだけ取り食べられる。それぞれ食べ物に個性があり、野菜が好きなSさんは野菜がお皿にてんこ盛りになって戻ってくる。小食のTさんはお皿にほんの少ししか載っておらず、食べ放題なのにもったいない。

皆さんそれぞれ好きなものをいただき、コーヒーを飲んだら部屋に戻って支度する。8時30分に宿を出発し、国道6号線に出た所にある野菜直売センターに寄ってお買い物。兎に角皆さんお買い物が好きで、直売所や道の駅があると必ず寄ってお買い物。お買い物が済んだら日立海浜公園に向かう。

南駐車場に車を止め、入場券を買って中央ゲートから入場する。プレジャーガーデンを通り、メタセコイアの並木道を通って海の見える丘に登る。ここから砂丘エリアを歩き、砂と海の林から砂丘観察園路を抜けて海浜口に出た。花はあまり無かったが、月見草やはまなすなど自然の山野草が見られた。はまかぜ橋を渡ってみはらしの丘に登り「みはらしの鐘」を鳴らす。海浜公園は初めての3名が



頂上まで行きたいと言うので、標高58mのみはらしの丘最高点まで登った。山頂から降りて古民家の前を通ると「梅ジュースを飲んでください」と声が掛かり、中に入って冷たい梅ジュースをいただく。お話し好きな方で、女性達はお話につき合っ中々出てこない。ようやく出て来て水のステージに向かう。水のステージから卵の森を通り、そよかぜ橋を渡ると中央ゲートに戻った。海浜公園をあと



にし、那珂湊おさかなセンターに向かう。ナビ任せで走ったらウルトラCが決まり、駐車場入り口脇に出て待ち時間なしで車を止められた。国道から駐車場入り口まで長蛇の列が出来ており、国道から来たら30分以上待たされたと思う。

12時過ぎているのでまずは昼食をと言うと、「まだお腹が空いてない」との事。買い物の時間を決め、我輩とTさんで回転寿司に向かう。ところが回転寿司は並んでおり、時間がかかりそうなので手前の海鮮レストランで食べることにする。昼食が済んだらおさかなセンターの中を覗くが特に買いたいものは無い。センター中央のベンチに買い物が済んだメンバーが休んでおり、ここで皆さんを待つことにする。約束の時間5分前には全員揃い、次の目的地「大洗めんたいパーク」に向

かう。おさかなセンターから那珂川を渡り、大洗町に入ると10分くらいでめんたいパークに着く。車はすんなり止められたので、そんなに混雑しているとは思わなかったが、中に入ったら買い物客がいっぱいでレジには長蛇の列が出来ていた。皆さんあまりの混雑に、買うのを諦め車に戻ってきた。買いたいと言っていた！ 瀏さんが、無事に目的の物を買って戻り帰路につく。水戸大洗 IC から北関東道に乗り、途中壬生ハイウエーオアシスに寄って最後の買い物し栃木市運動公園に帰着した。山には登らなかったが目的の「鵜の岬」に宿泊でき、観光とお買い物ツアーは大満足の様子だった。

